

奈良県内で活躍する保健師



◆先輩たちに支えられて◆

健康づくり推進係では「なら健康長寿基本計画」に基づき管内の市町村と協働して、保健事業を展開しています。私はがん対策担当となり、がん検診の受診推奨・啓発やがん患者とその家族を対象としたがんサロンの実施に携わっています。がん検診を受けて早期発見することで助かる命が増えること、またがんになり地域で暮らす方々の不安を軽減する場があることの必要性を感じ、事業に関わっていることにやりがいを感じています。勤務当初は自分が業務を進めていけるのか不安でした。しかしプリセプターや係の方々が一一つ丁寧に業務の進め方を教えてくださり、なんでも相談できる雰囲気の中で安心して業務に取り組んでいます。

中和保健所 健康づくり推進係
山口 恵実(2018年入庁)

◆専門的な視点で地域に寄り添う◆

医療ケアが必要な子どもとその家族への個別支援や各種医療費助成の受付、母子保健対策の向上を目指して市町村と協働しながら研修会や会議の企画・実施等の業務に従事しています。個別支援では、子どもの状態や利用できる社会資源など環境は様々で、家族のニーズも異なるため、相手の立場から物事を捉えることが大切だと感じています。支援方法に悩んだ時は、先輩職員に相談しながら家族の思いに寄り添う支援を心掛けています。

私が市町村ではなく県での就職を希望したのは、難病・母子・成人・精神・感染症など多様で専門的な分野で保健師として地域に貢献できる機会があるからです。新任保健師等の研修や、自身の能力を高めるための様々な研修があり、自己研鑽できる機会が多いのも魅力です。

中央こども家庭相談センター
勝木 悠(2017年入庁)



◆保健師のスタートラインに立って◆

母子・健康推進係では、医療的なケアが必要な子どもとその家族の支援や医療費助成の受付、市町村や関係機関と連携して地域の健康づくりなど幅広い業務に取り組んでいます。

私は、保健師として難病や精神疾患などさまざまな疾患を抱えている方たちの支援に関わりたいと思い県への就職を希望しました。

広域的な視点で捉えること、住民とのネットワークづくりや関係機関との連絡調整などについて学び、1日も早く住民に寄り添える保健師になれるよう頑張りたいと思います。初めての事ばかりで不安も多いですが、教育係の方や係全体で教えてくださり、すぐに相談できる環境も整っています。このような環境で自己研鑽に努めていきたいと思っています。

吉野保健所 母子・健康推進係
中筋紗耶華(2019年入庁)



◆難病患者・家族が過ごしやすい環境を作るために◆

保健師として健康増進課の精神保健難病係に配属されて1年がたちました。主に難病に関する普及啓発や療養環境の整備・医療費助成を行っています。窓口では、患者やその家族と関わることが多く実際に患者や家族の声を聞くことができます。そして、難病患者は患者・家族共に、不安を抱えている人が多いので些細な気持ちの表出も受け止められる様に心がけています。また、保健師として地域の多職種と連携し、より安心して安全な生活を難病患者や家族が送れるように療養環境の整備を行っています。地域で暮らしていく上で、その人らしく生活を送る支援を行うことができるので、とてもやりがいのある仕事です。

奈良県庁 疾病対策課 がん対策係
福田 勝慈(2018年入庁)

